

やつしろ 市議会だより

平成19年9月定例会



◆平成二十一年に日奈久温泉開湯六百年を迎えることから、地域活性化のため、日奈久温泉センター改築を初め、周辺整備が行われる予定です。(十一月から、施設の解体作業が始まります。)

《主な記事》

- 7月・8月臨時会 . . . 2
- 9月定例会見出し . . . 3
- 一般質問・意見書 . . . 4
- 委員会委員改選 . . . 8
- 平成18年度決算議案 . . . 9
- 委員会報告 . . . 10
- 9月定例会審議結果一覧 . . . 12

第9号

平成19年11月1日発行

編集・文責

八代市議会

広報編集委員会

☎0965-32-5984

(市議会事務局)

七月臨時会

去る七月二十日、臨時会が開かれ、市長から議案七件が上程されました。

七月六日からの梅雨前線豪雨により発生した被害の緊急的な復旧を実施するための補正予算に係る専決処分の報告及びその承認について三件は承認、契約の締結については、四件のうち、三件が可決され、一件については継続審査となりました。

◆ 専決処分の報告及びその承認について

△ 承認▽

- ・平成十九年度八代市一般会計補正予算・第二号（一億四千五百五十万円）

【学校施設や市道、林道などの緊急的な災害復旧費】

- ・平成十九年度八代市簡易水道事業特別会計補正予算・第一号（百六十三万三千元）

【配水管などの災害復旧費】

- ・平成十九年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算・第一号（七百八十七万五千元）

【ケーブル線の災害復旧費】



松高小学校体育館完成予想図

◆ 契約の締結について

△ 可決▽

- ・北部污水幹線工事・第二十九工区

（一億八千九百九十万円）

- ・松高小学校体育館改築建築工事

（三億二千八百六十五万円）

- ・植柳小学校体育館新築建築工事

（二億八千九百二十七万五千元）

◆ 契約の締結について

△ 継続審査▽

- ・障害者支援施設新築工事（四億四百九十八万五千元）

八月臨時会

去る八月十日、臨時会を開き、七月臨時会より継続審査となっていた契約の締結についての一件を、建設環境委員会委員長の報告の後、可決、また、市長から上程された、八代高等学校野球部に対する甲子園出場補助金に関する補正予算に係る専決処分の報告及びその承認についての一件を承認しました。

◆ 契約の締結について

△ 可決▽

- ・障害者支援施設新築工事

◆ 専決処分の報告及びその承認について

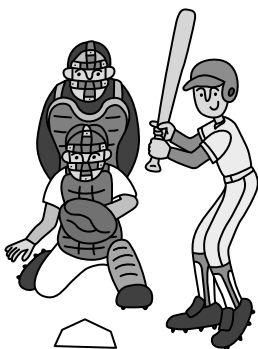
△ 承認▽

- ・平成十九年度八代市一般会計補正予算・第二号

【第八十九回全国高等学校野球選手権大会出場補助金（三百万円）】



障害者支援施設完成予想図



九月定例会

- ◎保育所施設整備補助金
- ◎日奈久温泉センター施設整備事業
- ◎医療費助成制度申請手続簡素化に伴う乳幼児医療費助成事業など



一般会計補正総額

九億千三百十万円を原案可決

議案・発議案・陳情など二十七件を議決

九月定例会は、九月四日招集、開会され、正副議長選挙が行われました。翌五日には、水道・病院事業会計決算、補正予算、事件、条例など議案十五件が上程され、市長の提案理由説明の後、常任委員会委員及び議会運営委員会委員を選任し、九月十日から十二日の三日間、十二人が質疑・一般質問を行い、委員会審査に付しました。

最終日の二十一日は、各委員長報告の後、決算議案二件を認定、議案十三件、陳情一件を議決、議員提出発議案一件及び議員追加提出発議案一件を原案可決、並びに、同日市長から追加提案された平成十八年度一般会計決算及び各特別会計決算十五件は、決算審査特別委員会を設置、付託の上、継続審査とし、また、人事案件九件を同意して、十八日間の会期を閉じました。付議事件、一般質問、審査の概要などは、次ページ以降のとおりです。

正副議長

就任あいさつ



議長 渡辺俊雄



副議長 村上光則

市民の皆様には、日ごろより市議会に対しまして深い御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

私どもは、去る九月四日に開われました九月定例会におきまして、議員の皆様方の御推挙を受け、合併後二代目となる八代市議会議長並びに副議長に就任いたしました。

本市は、一昨年八月一日、六市町村による合併で新たなスタートを切り、自来、地域の特性を生かし、県南の中心都市にふさわしい広域的なまちづくりに向け鋭意取り組んでおりますが、解決すべき課題も山積し、より一層の努力が求められております。

市議会といたしましては、これらの諸問題を解決するため、その役割と責任を改めて自覚するとともに、積極的かつ有効な議論を重ね、審議・議決機関としての機能を十分発揮すること、より多くの市民の声を政策に反映させ、皆様の負託にこたえてまいりたいと思っております。

私どもは、もとより微力ではありますが、公正円満な議会運営に努め、本市の発展と市民生活の向上を目指し、誠心誠意努力いたす所存でございます。

今後とも、一層の御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

一般質問

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、九月十日から十二日までの三日間、十二人が通告・登壇し、幅広い、活発な論議が展開されました。主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。



環境

日本製紙データ改ざん

上村 哲三

問 日本製紙八代工場における大気汚染防止法令違反及びデータ改ざん問題に関して、同社の市民への説明責任は十分であるか。また、今回の問題で、市民への健康や周辺環境への影響はなかったか。同社から出された再発防止策、改善計画に対する市としての検討評価はどうかであるのか伺う。

答 市長・市民環境部長 八代工場のデータ改ざんに対し、徹底した原因究明と再発防止策を講ずるよう求めた。市と工場が締結している環境保全協定を踏まえ、適切な情報提供と説明責任は必要と考える。

大気常時監視局データでは異常値がなかったこと。また、保健所や市への申し立てもなく健康への影響もなかったと思う。

工場は全職員の法令遵守意識の徹底及び再教育、データ改ざんができない機能の追加などを行うとされている。今後、工場への立入調査などで実施状況を確認していく。

建設予定の公共施設

太田 広則

問 市は公共施設（松高小・植柳小体育館、障害者支援施設、物産館、日奈久温泉センター）の建設がメジロ押しの中、何か地球温暖化対策を講じた建物が必要と考える。エコ構想や環境対策が織り込まれているか問う。（ほかに各支所における参議院議員選挙期日前投票の受け付け期間などについて質問あり）

答 教育次長 学校施設整備の際、内壁等に木材を使用し、室内の熱気を排出するための天井ガラリを設置したり、屋根は遮熱鋼板や遮熱塗料を使用するなど環境対策を行っている。

建設部長 建設中の障害者支援施設についても、遮熱鋼板の屋根材を使用し、また建物の間取りの中で中庭を設置し、自然の光や風を利用することで、設備機器等の電気消費の抑制を図るなどの環境対策を行っている。

今後建設予定の施設においても、省エネ、省資源に配慮した施設設計を行っていく。

環境対策について

飛石 順子

問 環境問題は市民一人一人の取り組みが不可欠である。これまで提案してきた①マイバッグ運動、②段ボール箱生ごみ堆肥化の現状と今後の取り組み、③分別収集、④私のチャレンジ宣言、⑤緑のカーテンの今後の取り組みについて伺う。（ほかに子育て支援、教育行政について質問あり）

答 市民環境部長 ①小売店の協力のもと、レジ袋削減の声かけ運動を始めた。②段ボール箱堆肥化講習会など普及に努めている。③全国で優良事例と認められた分別を、さらに拡大強化したい。④この取り組みは、個人が簡単に実践でき一人一日一キログラムの二酸化炭素を減らすというもの。我が国の二酸化炭素排出削減は、なかなか進まない状況にあり、市報などで市民に周知していく。

教育長 ⑤緑のカーテンについては、環境教育等の効果もあり、校長・園長会議等で各学校に紹介する。

日本製紙データ改ざん

笹本 サエ子

問 八代市公害防止条例第二十六條、工場と市が締結した環境保全協定第十一條で、市独自の権限で立入検査ができる。どのようにされるのか。あわせて、大気汚染自動測定機を、工場周辺も含め増設を求め。（ほかに坂本町における環境問題について質問あり）

答 市長 今後行う八代工場への立入調査に当たっては、ばい煙の排出基準の遵守、適正なデータ管理がきっちりとして履行されているかどうかを検証していく。



行政

入札制度改革について

田中 茂

問 昨年、三県の知事を頂点とする官製談合事件があり、全国知事会及び総務省は一千万円以上の工事に一般競争入札を求め、県と熊本市は具体的な金額を提示し取り組んでいる。

答 本市では二件の制限つき一般競争入札を試行したが、その検証と今後の入札制度のあり方について問う。

問 総務部長 共同企業体方式で実施した「制限つき一般競争入札」を過去の共同企業体方式案件と比較した場合、今回の試行だけで、一概に評価することは難しいと考えている。

答 また、事務量が増大したことから「事務の効率化」についても検討の必要性を感じている。

副市長 今回の試行を含め引き続きさまざまな一般競争入札のケースを試行し、今後も国・県の動向を踏まえ「競争性・透明性の向上」と「品質の確保」に向け、入札制度の改善に取り組んでまいりたい。

八代高専の再編計画

亀田 英雄

問 八代高専と熊本電波高専の再編整備方針が発表されたが、八代高専の位置づけに対し、市はどのような認識を持っているのか。また、今後、市としてこの問題に対し、どのような対応をとられる考えなのか伺う。（ほかに合併効果の検証について質問あり）

答 市長 八代高専は、本市における産学官連携の重要な役割を担った高等教育機関である。市の重点施策である企業誘致を推進する上でも、八代高専の存在は不可欠なものである。

八代高専の再編統合については、優秀な人材の育成や地域産業との連携等、これまで同校が果たしてきたさまざまな機能をさらに充実し、本部機能としての役割を果たしていくよう強く要望している。

今後の検討に際しては、県及び市、地元産業界の意見等も十分聞き、調整を図られるよう要望したい。

過疎対策事業債

清水 弘

問 過疎対策事業債及び辺地対策事業債は、大変有利な起債であり、特に過疎対策事業債は時限立法であるので、前倒ししても活用できないか伺う。（ほかに合併特例債について質問あり）

答 企画振興部長 平成十七十八年度の二カ年における過疎債の活用として、市道・林道整備、消防施設整備、防災無線の施設整備など約六十の事業を実施している。

同じく、辺地債の活用としては、市道・林道整備を初めとして約十四の事業を実施している。今後も引き続き、現在策定中の「八代市総合計画」との整合性を図りながら、過疎債においては「過疎計画」にのっとり、辺地債においては「総合整備計画」に基づき、優遇措置・制度等を有効活用し、事業実施することとなる。



第三セクターについて

堀口 晃

問 近年、全国的に膨大な債務を抱え破綻する第三セクターが続出している。本市も例外ではなく、本年六月(株)氷川が倒産。経営困難になった(株)トーヨーには、市民の税金四千万円が投入され再建が進められている。今後、厳しい経営状況にある本市の第三セクターをどのように運営していくのか問う。

答 **企画振興部長** これまで出資者として各社の経営改善委員会に職員を派遣し、経営状況の把握や助言を行ってきた。

さらに、今年七月、庁内に「第三セクター関与見直し検討会」を設置し、公益性と収益性のすみ分けによる市の財政的関与のあり方や事業活動の点検、評価方法について検討を進めている。

また、市特別職の第三セクターの役員就任も公益的側面を考慮しながら対応してきたが、国の指針や第三セクターの独立性も考慮し、適切に判断していく。

市長のこの二年の総括

橋本 幸一

問 合併して「元氣と活力あるまちづくり」を目指して頑張ってきたら二年が過ぎたが、市長のこの間の総括とこれからの市政運営をどう考えておられるのか問う。

答 **市長** 新しい「八代市」の初代市長として就任し二年が経過したが、市議会並びに市民の皆様と一緒に全力で取り組んできた結果、市民の皆様方に約束したマニフェストについてもおおむね順調に進めることができたと考えている。

今後は本市のさらなる飛躍を目指して、地域バランスにも配慮しながら事業の進捗を図り、気を引き締めて市政のかじ取りに当たらなければならないと考えている。豊かで活力ある八代市の実現に向け、全力を傾注していく覚悟である。

経済

産業活性化支援事業

福嶋 安徳

問 平成十八・十九年度にかけて取り組んだ事業実績、件数、補助金額等の進捗状況、各事業においての事業効果を問う。また、事業終了後、どのようなPR、対応を考えているのか問う。(ほかに日奈久温泉センター改築計画について質問あり)

答 **商工観光部長・農林水産部長** 平成十八年度は、商業八件、千三百六十六万九千円、工業四件、六百四十九万六千円、農業百二十六件、一億百二十三万九千円、水産業二件、四百万円、林業三件、三百一十七万七千円の補助を行った。

平成十九年度は二回の審査会で、商業四件、七百十八万二千円、工業三件、五百七十五万円、農業五十七件、五千八百六十六万円の補助を予定している。事業効果は、売り上げの増加、品質の均一化、作業の軽減等である。

事業終了後は市報等で実績を公表し、関係機関と連携をとり進行管理を行う。

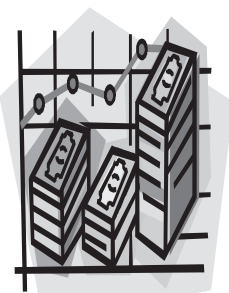
元氣が出る産業活性化

大倉 裕一

問 平成十八・十九年度で約二億円の市民の貴重な税金が補助されている。多くの市民は、この補助に対し、二億円以上の成果を期待している。検証が必要と考えるが、評価の方法とその基準を尋ねる。また、市民の知る権利から補助対象者の氏名公開が必要と思うが、その考えを問う。

答 **市長** 評価は、当初の目標に対する達成状況や今後の取り組み等について、初年度分については、来年夏ごろまでに実績報告書を提出してもらい、実績報告書の内容を検証し、それぞれの分野の目標年次に応じて評価していく考えである。

補助対象者の氏名公開は、個人または法人の正当な利益を害するおそれがあるものを除き、今後とも公開できる情報は公表していく考えである。



教育

食物アレルギー対応

幸村 香代子

問 現在、食物アレルギーを持つ児童生徒がふえていると言われる。学校給食は教育の一環であるということから考えると、食物アレルギーを持つ子供たちが、皆と一緒に給食を食べられるような対応が必要だと思う。本市の食物アレルギーを持つ子供たちの現状と取り組みについて問う。

答 **教育長** 本市が学校等を通して行った調査によると約三百人の子供たちが、食物による何らかのアレルギーを有しているという結果が出た。

子供たちにひとしく学校給食を提供することができるよう、「学校給食アレルギー対応食提供事業」を開始している。現在、八代郡市の医師会の協力を得て、対象者の審査認定を行い、六十八人の園児・児童・生徒に対して対応食の提供を行っている。

今後とも、きめ細やかな対応食の提供ができるよう、より一層の充実を図りたい。

意見書

九月定例会において意見書案二件が提出され、原案のとおり可決、次のような要旨をもって、国会及び関係行政庁へ送付しました。

◆ 割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

現在、我が国では、高齢者に対する次々販売被害、展示会商法等、クレジット悪質商法被害が多発している。

この要因としては、クレジットは、代金回収と商品の引き渡しを分化したシステムであり、販売事業者が消費者の資金等を無視した勧誘を行うなどの構造的危険性を有しているにもかかわらず、現行割賦販売法が被害防止に向けた法改正を行ってこなかったこと等が挙げられる。

ついでには、国に対して、クレジット悪質商法被害の防止と消費者の被害回復、さらには、消費者にとって安心・安全なクレジット社会を築くため、割賦販売法を抜本的に改正するよう、意見書を提出するものである。

◆ 道路整備の促進及び財源の確保に関する意見書

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える上で最も重要な社会基盤である。

道路特定財源は、その全額を道路整備に充当することとされており、税率についても、暫定税率の適用が五年間延長される等、社会資本整備重点計画の計画的執行を行うための重要な財源となっているが、平成二十年度予算においても引き続き公共事業費の削減がなされる見通しであり、道路整備においても必要な事業が確実に実施できない状況となっている。

このような中、本市においては、広域交通ネットワークの基盤づくりのために、国道並びに県道に係る幹線道路網等の整備、新八代駅周辺のアクセス道路の整備は喫緊の課題である。また、地域間格差への対応や豊かな生活環境の創造等の観点などから、必要な道路整備を着実に推進していかなければならない。

ついでには、国に対して、本市の実情を十分勘案され、特段の配慮がなされるよう、意見書を提出するものである。

～ 市議会だよりについて ～

市議会だよりは、年4回（2月・5月・8月・11月）、定例会や臨時会などの質疑・一般質問や議案審議の主な内容を掲載し、発行しています。

「広報やつしろ」と一緒に各家庭に配布しておりますが、支所、出張所、公民館などの公共施設にも置いてあります。

また、ホームページにも、「市議会だより第1号」から順次掲載しています。市のホームページトップ画面左側の「市議会から」をクリックすると、市議会のホームページを開くことができます。



常任委員会・議会運営委員会の委員を改選

◎は委員長、○は副委員長です

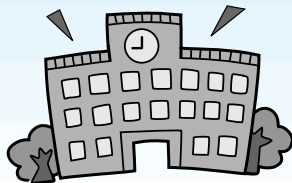
常任委員会（総務・建設環境・文教福祉・経済企業）・議会運営委員会の委員の任期は2年と定められているため、今定例会で改選されました。

文教福祉委員会

《所管事務調査事項》

- 教育・文化に関する諸問題の調査
- 保健・福祉に関する諸問題の調査

◎太江田 茂 ○田中 茂
木田 哲次 小園 純一
友枝 和明
中村 和美
山本 幸廣
幸村 香代子



総務委員会

《所管事務調査事項》

- 行財政の運営に関する諸問題の調査
- 新市建設計画に関する諸問題の調査

◎松浦 輝幸 ○成松 由紀夫
太田 広則 片山 篤
島田 正道 田中 安
橋本 幸一
古嶋 津義
堀口 晃

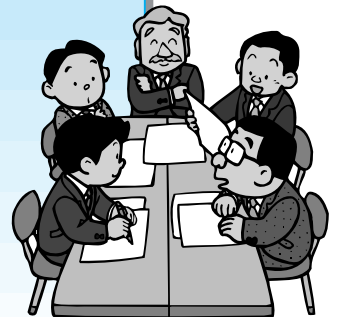


議会運営委員会

《所管事務調査事項》

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項

◎小園 純一 ○亀田 英雄
木田 哲次 清水 弘 田中 茂
友枝 和明 中村 和美 橋本 幸一
藤井 次男 増田 一喜 山本 幸廣

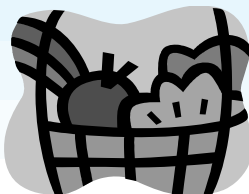


経済企業委員会

《所管事務調査事項》

- 産業・経済の振興に関する諸問題の調査
- 病院・水道事業に関する諸問題の調査

◎福嶋 安徳 ○飛石 順子
亀田 英雄 田方 芳信
竹田 誠也
前田 慧
百田 隆
渡辺 俊雄



建設環境委員会

《所管事務調査事項》

- 都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- 生活環境に関する諸問題の調査

◎清水 弘 ○大倉 裕一
上村 哲三 笹本 サエ子
鈴木田 幸一 藤井 次男
増田 一喜
村上 光則
矢本 善彦



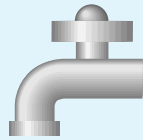
平成18年度企業会計決算2件を認定

☆企業会計決算（水道事業会計決算・病院事業会計決算）は、経済企業委員会に付託され、9月定例会最終日に認定されました。

◆「企業会計」とは・・・企業の要素を持つ会計です。本市には、水道事業会計と病院事業会計があります。

水道事業会計決算

水道事業は、安全でおいしい水の安定供給に努め、住民福祉の増進に寄与してきました。また、健全経営と普及率の向上を重点目標とし、施設の整備に取り組んできました。



- 平成18年度は……
- ★配水本管の布設工事（宮地町）
- ★配水管布設工事（沖町・上野町地区）
- ★老朽管の布設がえ（若草町・黄金町）
- ★下水道と同時施工による配水管布設工事（井上町・長田町・上日置町地区）
- ★計装機器等の改良工事（新開・松江城水源地）……などに取り組みました。

病院事業会計決算

八代市立病院は、良質で信頼される医療の提供に努め、地域住民のニーズにこたえとともに、健全経営の維持を最重要課題として取り組んできました。



- 平成18年度は……
- ★入院環境等の向上（本館の屋上防水工事）（南側外壁の防水・サッシの改修工事）
- ★検査機能の向上（CTの管球交換・検査室の改修）
- ★救急医療の充実（自動体外式除細動器の購入）……などに取り組みました。

平成18年度一般会計・特別会計決算15件を決算審査特別委員会へ付託

☆一般会計・特別会計決算15件は、9月定例会最終日に設置された決算審査特別委員会に付託され、11名の委員により、閉会中に継続して審査されることになりました。

- ◆「一般会計」とは・・・各般の行政需要に対応するための基本的な経費を計上した会計です。
- ◆「特別会計」とは・・・特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と切り離して、条例で設置して事務処理を行う会計です。本市には、国民健康保険、公共下水道事業など、平成18年度は14の特別会計があります。

決算審査特別委員会構成

◎島田 正道	○堀口 晃	
小藺 純一	清水 弘	竹田 誠也
橋本 幸一	古嶋 津義	前田 慧
松浦 輝幸	山本 幸廣	矢本 善彦



委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、総務委員会、建設環境委員会、文教福祉委員会、経済企業委員会の四つの常任委員会に付託することで審議がなされています。(また、特定の問題については、必要に応じて市議会の議決によって設置された特別委員会において審査・調査されます。)

これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長により本会議において報告が行われます。

ここでは、九月二十一日に行われた委員会報告を抜粋して掲載いたします。

建設環境委員会

◆平成十九年度八代市一般会計補正予算・第四号・廃棄物対策費について

説明 今回の補正八十八万七千円については、財団法人自治総合センターから助成を受けて実施する環境保全促進事業に対する費用八十万円と、財団法人熊本県環境整備事業団への出捐金八万七千円であり、その内容として、環境保全促進事業においては、ごみ減量に関する講演委託費用やマイバッグ

作成教室に伴う原材料費、オリジナルマイバッグコンテスト審査員への報酬である。また、財団法人熊本県環境整備事業団への出捐金については、県が進めている公共関与による管理型最終処分場の建設に伴うもので、県下すべての市町村にその対応が求められているものである。



問 マイバッグに関連する事業、また、講演会についての具体的な事業内容について問う。

答 マイバッグに関連する事業については、全額助成を受けての事業として、マイバッグ作成の講習会やマイバッグコンテストを計画しており、講演会の開催時期については、早ければ年末、遅ければ年明け早々ぐらいを予定している。

問 熊本県環境整備事業団の役割について問う。

答 熊本県では、これまで公共関与による最終処分場建設計画が時間をかけて検討されてきたところである。現在、南関町を候補地として計画が進んでいる中であって、本事業団の組織を本年十月に設立し、本格的に環境アセスメント調査やその運営などを行い、これから処分場建設に向けての事務を行っていくこととなる。

問 平成十六年三月の時点で、熊本県は最終処分場の候補地を八カ所選定しているが、今後また候補地が挙がってくるような状況においても、それぞれ出捐金を求められるのか問う。

答 今回は、南関町に建設するための財団設立に対する出捐金であり、将来的に県が複数箇所施設を建設するとすると、その都度、出捐金の要請が出てくるものと考えられる。

文教福祉委員会

◆平成十九年度八代市一般会計補正予算・第四号・乳幼児医療費助成事業について

問 今回の手続の簡素化に至るまでの検討の経緯について問う。

答 この問題は以前からの懸案事項であり、当初は窓口完全無料化という要望から発したものであるが、この完全無料化を実施すると、通常、医療機関の窓口で一たん支払う二割または三割の自己負担分を、最初からゼロ割にすることとなるから、その自治体は財政的に余裕があるとみなされ、国・県から本市の国民健康保険に対してペナルティーが科せられ、結果として、一般会計から一億円前後の持ち出しが必要になる試算となる。また、ほかの市で実施されている窓口無料化については、完全無料化ではなく一部無料化であり、

先進地の事例を調査検討した結果、これまで数回必要だった手続が一回で完了する方法を今回実施することになった。

なお、今後、医療機関等と市役所間の申請書郵送料が義務的経費として発生してくることとなり、また、これまで手続の煩雑さなどから未申請だった方々からの申請件数の増加が考えられるため、財政的負担の増大が見込まれるところである。

経済企業委員会

◆平成十九年度八代市一般会計補正予算・第四号・日奈久温泉センター整備事業について

説明 平成二十一年に日奈久温泉開湯六百年を迎えることから、日奈久地域の活性化を図るために温泉センターを建てかえることとしている。現在、基本設計・実施設計を行っているところで、来年度は建築工事を予定しており、これに合わせて今回解体工事を行うものである。経費には、本体の解体工事に三千四百三十万円、屋外トイレ、倉庫、ポイラー室、塀などの附属施設の解体費用に四百万円、また、東

湯・西湯は、温泉センター解体工事中もそのまま営業されるため、その二施設への送湯に必要な仮設配管や機械室を整備する工事費用に九百七十万円となる。解体工期は、本年十一月から来年三月までの五カ月間を予定し、平成二十年度は、年度内の三月いっぱいまで本体工事を行い、四月から新しい温泉センターとして開業する予定である。

問 温泉センター閉館中の従業員の雇用問題について問う。

答 温泉センターには十九名が運営に携わっており、十一月からの休館以降の処遇については、現在、運営委託団体と協議中である。

要望 従業員の方々にとっては大変重要な問題であるので、配慮方願したい。

問 温泉センターへ入る道路が非常に狭いことから、工事期間中の搬入搬出道路の対策について問う。

答 工事に際して、当該地は、国道からの工事用車両進入道路が約四メートルしかなく、工事

用車両も四トン車程度しか使用できず、日数も要するなど、条件の厳しさは十分認識しており、周辺の旅館や民家に極力迷惑をかけないよう工事を進めていきたい。

総務委員会

◆平成十九年度八代市一般会計補正予算・第四号・過年度市税等過誤納還付金について

説明 法人市民税において、三ヶ月期決算事業所の確定申告で高額の還付金が発生したことにより予算不足が生じたため、補正をお願いするものである。

問 例年に比べて大幅な還付金が発生した理由について問う。

答 法人市民税は、中間申告として前年度の納付額の半額を中間納付し、決算年度終了後に確定申告をして、その差額を調整する制度となっており、前年度と比較して今年度の収益が大幅に落ちた場合などは、決算額で還付が生じてくる場合がある。

今年度においては二社で約二千八百万円の高額還付金が発生し、まだ年度半ばの現時点で既

に当初予算を費やしてしまった。今後、年度末までにも還付が予定されている分があることなどから、今回、その分も含めて補正をお願いするものである。

委員会を傍聴しませんか？

傍聴定員は5人で、受付順です。

また、会議の状況は、市役所1階ロビーのモニターテレビや、市議会ホームページの議会中継でもごらんいただけます。

※委員会開催日時は不規則なため、議会事務局（32-5984）へお問い合わせいただくか、またはホームページにて御確認ください。

9月定例会審議結果一覧

* 請願・陳情で継続審査になったものを除く

提案者	議案番号	件名	議決日	審議結果
市長	議案第85号	平成18年度八代市水道事業会計決算	9.21	認定
〃	議案第86号	平成18年度八代市病院事業会計決算	9.21	認定
〃	議案第87号	平成19年度八代市一般会計補正予算・第4号	9.21	原案可決
〃	議案第88号	八代市土地開発公社定款の一部変更について	9.21	可決
〃	議案第89号	土地改良事業の施行について	9.21	可決
〃	議案第90号	土地改良事業の施行について	9.21	可決
〃	議案第91号	土地改良事業の施行について	9.21	可決
〃	議案第92号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	9.21	原案可決
〃	議案第93号	八代市職員退職手当支給条例の一部改正について	9.21	原案可決
〃	議案第94号	八代市特別用途地区建築条例の制定について	9.21	原案可決
〃	議案第95号	八代市手数料条例の一部改正について	9.21	原案可決
〃	議案第96号	八代市社会福祉会館条例の廃止について	9.21	原案可決
〃	議案第97号	八代市総合福祉センター条例の一部改正について	9.21	原案可決
〃	議案第98号	八代市立ひまわり苑条例の一部改正について	9.21	原案可決
〃	議案第99号	八代市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	9.21	原案可決
〃	議案第100号	平成18年度八代市一般会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第101号	平成18年度八代市国民健康保険特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第102号	平成18年度八代市老人保健医療特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第103号	平成18年度八代市介護保険特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第104号	平成18年度八代市八代圏域介護認定審査事業特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第105号	平成18年度八代市公共下水道事業特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第106号	平成18年度八代市簡易水道事業特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第107号	平成18年度八代市交通災害共済事業特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第108号	平成18年度八代市日奈久温泉施設特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第109号	平成18年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第110号	平成18年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第111号	平成18年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第112号	平成18年度八代市診療所特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第113号	平成18年度八代市久連子財産区特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第114号	平成18年度八代市椎原財産区特別会計決算	9.21	継続審査
〃	議案第115号	人権擁護委員候補者の推薦について(菊川保之氏)	9.21	同意
〃	議案第116号	人権擁護委員候補者の推薦について(佐藤タエ氏)	9.21	同意
〃	議案第117号	人権擁護委員候補者の推薦について(長廣嘉代子氏)	9.21	同意
〃	議案第118号	人権擁護委員候補者の推薦について(太江田久子氏)	9.21	同意
〃	議案第119号	人権擁護委員候補者の推薦について(水野潤一郎氏)	9.21	同意
〃	議案第120号	人権擁護委員候補者の推薦について(寺田公子氏)	9.21	同意
〃	議案第121号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(養田淳美氏)	9.21	同意
〃	議案第122号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて(園田禎子氏)	9.21	同意
〃	議案第123号	監査委員の選任につき同意を求めることについて(田中安氏)	9.21	同意
陳情	第6号	割賦販売法の抜本的改正を求める意見書の提出方について	9.21	採択
議員	発議案第6号	道路整備の促進及び財源の確保に関する意見書案	9.21	原案可決
〃	発議案第7号	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書案	9.21	原案可決

編集後記

冷気日増しに加わる季節となりましたが、市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

市町村合併後二年が経過し、新しい議会構成になり、定例会や各委員会では、市町村合併後の市政運営や新市の諸問題などについて、活発な質疑・一般質問・議論などが行われました。

さて、今回の「議会だより」から新しい広報編集委員会のメンバーでの発行となります。

読みやすく、わかりやすくを紙面づくりの基本として、できるだけ多くの議会活動の情報を伝えるよう努力していきたいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。

八代市議会広報編集委員会

座長 村上 光則
委員 竹田 誠也
田中 安

中村 和美
幸村香代子